



熊野町立熊野第一小学校  
令和4年8月25日  
校長 青木 真智子

## もうすぐ2学期！



長いと思っていた夏休みですが、残り1週間足らずとなりました。子供たちは、どんな夏休みを過ごしたでしょうか？

日ごろできない貴重な経験を積んだ、楽しい思い出ができたという声もある一方で、この夏も感染が拡大していたことから、多かれ少なかれ、我慢の夏だったことと思います。まだまだ心配は尽きません。これからも、学校と家庭がお互いにしっかり手を携えて、子供たちの健康と教育活動の両方を大切にしていきたいと思ひます。改めてよろしくお願ひいたします。

### 教職員研修の様子

夏休み中、先生たちは教材研究や授業準備、課題作成、行事の準備、地域の安全パトロール、校舎内の清掃・整備などに加え、様々な研修を行っています。例えば、学力調査の分析をして、子供たちが、どんなことにつまずいているのかを見つけ、授業に生かす手立てを考えたり、ICTについて学んだり、研究を進めている生活科・総合的な学習の時間について講師を招いて学んだりもします。

時には先生自身が講師となって研修を行うこともあります。岡澤先生は、本校の今年のテーマ「人との関わり」を育むため、人間関係プログラムの研修を行いました。心を開いて友達と関わる人間関係を築くヒントを共有できました。

教務主任の池田先生と研究主任の宮脇先生、特別支援Coの溝下先生は、カリキュラム研修を進めました。学年別に年間のカリキュラムを確認し、人との関わりを大切にしながら、子供たちにとって学ぶ意欲につながる計画になるよう見直しました。

また、寺川先生と金山先生は6月におこなった幼稚園の就業体験研修について全職員に報告しました。幼稚園の、遊びを通して学ぶ子供の姿や、それを丁寧支え見守る幼稚園の先生方から学んだことの報告を受け、幼保小をつなぐ大切さを皆で再確認することができました。

熊一小は、こんなふうに、子供たちだけでなく先生たちも「自ら学び、共に伸びる」学校づくりを目指しています。



学力調査の課題を分析（教科別）



人間関係プログラム研修

幼稚園就業体験報告



カリキュラム研修



## コミュニティスクール（CS）について

熊野町では、全校でコミュニティスクール（CS）の取組を進めています。コミュニティスクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで一緒に子供たちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。本校も年3回の「学校運営協議会」で委員の皆様にご意見を頂きながら学校運営を進めています。

本年度、熊野町全体でコミュニティスクールの一層の充実を図っており、本校でも取組を進めています。

その一環として、この夏、PTA 執行部さんと一緒に、コミュニティスクールの拠点となるよう、西校舎2F 学習室を CS ルームとして整備し、居心地のよい明るい部屋ができました。CS の充実につながるよう、しっかりと活用していきます。PTA 執行部さん、ありがとうございました。

本校の学校経営理念「ふるさとを愛し、愛される熊一小」の実現に向け、これからもコミュニティスクールの充実に、一歩ずつ取り組んでいきます。



CS ルームの整備



R4 第1回学校運営協議



整備された CS ルーム

## 図書室の床がきれいになりました！

この夏、西校舎2F 図書室の床を張り替え、きれいで少し弾力のある床になりました。秋は読書にぴったりの季節です。これを機に、子供たちが図書室に行き、楽しんで読書を進めてほしいと思います。

## 筆について

地域の方が、大量の絵筆を寄贈してくださいました。9月に入ってから全児童に配布します。学校に保管したものは、図工の授業等で有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

## 電話対応時間について

7月号の学校だよりでお伝えしていますが、本校では、教職員の働き方改革を積極的に推進しています。そこで、学校の電話対応について、9月1日より次のようにしたいと考えています。ご協力の程、よろしくお願いいたします。【冬休み等の長期休業中に対応については後日お知らせします。】

- 午前7時30分から午後6時30分までの電話対応とする。
  - 土日祝等の休日の電話対応は行わない。
- ※ 緊急時の学校から家庭への電話連絡は、必要に応じて適宜行う。



## 全国学力・学習状況調査結果について

令和4年4月19日に実施した全国学力・学習状況調査（第6学年）の結果が公表されました。各教科の平均正答率（％）は、以下の通りです。国語の書写に関する問題、算数のかけ算や公倍数の問題、理科の昆虫のからだのつくりやグラフの読取りの問題は、よくできていました。

| 教科 | 熊野第一小学校 | 広島県 | 全国   | 課題が見られた主な内容                                  |
|----|---------|-----|------|--|
| 国語 | 64      | 67  | 65.6 | 文章で記述する問題（書き直した文章のよさや、選んだアイデアの問題点を解決する方法を記述） |
| 算数 | 58      | 64  | 63.2 | 割合の意味理解や概数の利用、プログラミングを利用した作図                 |
| 理科 | 66      | 66  | 63.3 | 結果と考察とのつながりの理解、考察から新たな問いを見いだす                |

教職員も夏休み中に課題のある問題を解き、これらの課題を改善するために各学年でどんな指導ができるかを考える研修を行いました。「記述を通して考えをまとめ、表現すること」「プログラミング等の論理的思考を深める取組を行うこと」「がん熊タイムやくまチャレを活用して基礎的な内容の習熟を図ること」「理科における問題解決の過程を丁寧に指導すること」等について、2学期からの授業で取り組んでいきたいと思っています。来年度は、令和5年4月18日（火）に国語・算数の調査が予定されています。